
目次

.....

【1】 --- 本学発の論文新着速報 (2025 年 7 月・8 月分)

.....

【2】 --- 看護学学舎の壁がきれいになりました
 < 広小路キャンパス活性化プロジェクト >

.....

【3】 --- 春風亭一之輔さん、三遊亭楽生さん「広小路寄席」レポ

.....

【4】 --- クラウドファンディング返礼品を配送しました

.....

[Book Review] ・ ・ ・ 編集後記にかえて

【1】 --- 本学発の論文新着速報 (2025 年 7 月・8 月分)

.....

京都府立医科大学発の学術論文(PubMed 収載)のうち、2025 年 7 月・8 月発行分のものについて、お知らせします。(検索日 2025/9/4 195 件)

◆ ↓ 次の URL をクリックしてください ↓ ◆

<https://www.ncbi.nlm.nih.gov/sites/myncbi/1FS3cNp9hWvAN/collections/65819137/public/>

この情報は以下の抽出条件のもとに月に 1 回お知らせしています。

- ・ 直近 2 ヶ月分
- ・ 論文の著者が本学所属

【2】 --- 看護学学舎の壁がきれいになりました

 < 広小路キャンパス活性化プロジェクト >

.....

「広小路キャンパス活性化プロジェクト」の一環として実施した、看護学学舎の廊下壁塗装工事（地階～4階）が先生方や施設課さん等のおかげで無事に完了しました。工事期間中はご協力いただき、ありがとうございました。

階段室の工事は、別途実施を検討しています。今後も引き続き、看護学学舎の教育研究環境の整備にご理解ご協力をお願いします。

【3】 --- 春風亭一之輔さん、三遊亭楽生さん「広小路寄席」レポ

春風亭一之輔さん・三遊亭楽生さんの「広小路寄席」が8/28(木)、盛況のうちに開催されました。

前座は春風亭一之輔さんの弟子、春風亭らいちさんによる「転失気」。頭の回転の早い小僧の珍念ととぼけた和尚、お医者への掛け合いが楽しい、「医学用語の知ったかぶり」という本学にピッタリな演目でした。

続いて春風亭一之輔さんによる落語「真田小僧」。無料の公演だけどお客さんは自覚をもって笑って下さいという冒頭のツッコミに場内は大爆笑、さらにお子さんの小学校での公演、娘さんとのハーゲンダッツ事件を枕に、おとつあんの不在の間におっかさんを訪ねてきた男の話をする息子が、話が進む度にお小遣いを要求し、オチは按摩さんという、これも医学に関係する噺をスピーディーに演じ、図書館ホールは大いに沸きました。

トリの三遊亭楽生さんは落語「片棒」。同じ高校の同級生である一之輔さんとの二人会は初めてということや三遊亭円楽を襲名したら東京帝国ホテルの襲名披露パーティーに皆さんをご招待します（ご祝儀お願いします）という枕で盛り上げ、隣のうなぎ屋の匂いでご飯を食べているケチなおばあさんの小噺、自分の葬式をどうするか三人の息子に尋ねるケチな商店主の噺を中腰になって大熱演。ガッチリと聴衆の心を掴んでいました。

休憩を挟んで、木塚先生の司会による、貴重なお二人の同級生対談。京都の印象については、一之輔さんはお客さんは笑いに対して少し用心深いという、年間900の高座をこなしておられる方ならではの鋭いご指摘、楽生さんはお客さんの品が良く着物の色合わせも見えて貰えると、着物にこだわりのある落語家さんならではのご意見。途中図書館ホールのクーラーの効きが悪い、舞台が古いという一之輔さんのご指摘には主催として冷や汗が出ました。

噺家の良い所として一之輔さんはカバン一つで出来、時間に拘束されず、満員電車にも乗らなくていい点を挙げ、楽生さんは仕事時間が短い、バーなどで落語家と言ったら待遇が良くなることをお話になり、対して一之輔さんは落語家だとは絶対に名乗らないとおっしゃり、お二人の個性が際立っていました。

最後に落語家の遣り甲斐について、一之輔さんはゴールが判らない仕事で、死ぬまで精進出来ること、楽生さんは必要とされる芸人になることが目標で、高座の他に講演会やラジオなど色々なことに挑戦出来ることとお話されました。

質疑応答では、お互いの好きな所は？好きな噺家は？話すのが苦手だけどどうしたら良いか？など時間いっぱい挙手があり、プロの答えに観客一同頷いていました。

直筆サインの抽選会也大いに盛り上がり、あっという間の2時間でした。当日の入場者数の関係で、ライブビューイングで申し込まれたお客様もホールで鑑賞していただきました。クールなツッコミが冴えまくる一之輔さんと温かいお人柄が滲み出る楽生さん、個性豊かな落語と座談会でした。

春風亭一之輔さんと三遊亭楽生さんのインタビュー記事は、[「京都広小路通信」](#)に掲載しています。

・前編 [たった一人で正座して、話芸だけで、数多のお客さんを笑いと人情の世界へいざなう](#)

・後編 [同級生だけど、落語家として全く違う道のりを歩んできた二人](#)

【4】 --- クラウドファンディング返礼品を配送しました

.....

1月～3月に実施したクラウドファンディング「[命を紡ぐ架け橋に！未来の医療人材をはぐくむ、学びと地域交流の場](#)」への寄附金受領書と、ご支援の際にお選びいただいたギフトをお送りしました。ご支援いただいた皆様、お手元に届きましたら、お納めいただければ幸いです。

附属図書館へのご寄附は、引き続き承っております。返礼品など、[こちら](#)からご覧ください。

皆様の温かいお志によりオープンしたラーニングコモンズ「Koto Square」では今日も医学を志す学生達が熱心に学び、互いに対話を深めています。いつでもお立ち寄りいただければ幸いです。今後とも、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

[Book Review]・・・編集後記にかえて

.....

村山早紀著 『風の港』(徳間書店 2022 年)

今日、9/4 は関西国際空港の開港記念日。

空港は世界に続く扉がある場所。帰るための場所。飛び立つまでのひとときを過ごす人達のお話。夢破れて帰郷する亮二。フライトが大幅に遅延し、夢にあふれて過ごしていた日々を振り返る。いつの日にか忘れていたあるものに気づく。物事がうまくいかない時は待ってみよう。良い風が吹くまで。気持ちが優しくなる話がリレー形式で続く。短編4話とエピローグ。(Y.N)(京都市右京中央図書館所蔵「[K-Libnet](#)」で貸出が可能です)

KPUM Library Booklog : <https://booklog.jp/users/kpumlib>

この本のページ : <https://booklog.jp/item/1/4198659443>

.....

図書館メール News551 号 2025.9.4 発行 (隔週木曜日発行)

編集・発行：京都府立医科大学附属図書館

library@koto.kpu-m.ac.jp

<https://www.kpu-m.ac.jp/k/library/>

.....

(図書館メール News のバックナンバーはこちらから↓)

<http://www.kpu-m.ac.jp/k/library/web service/mailnews.html>